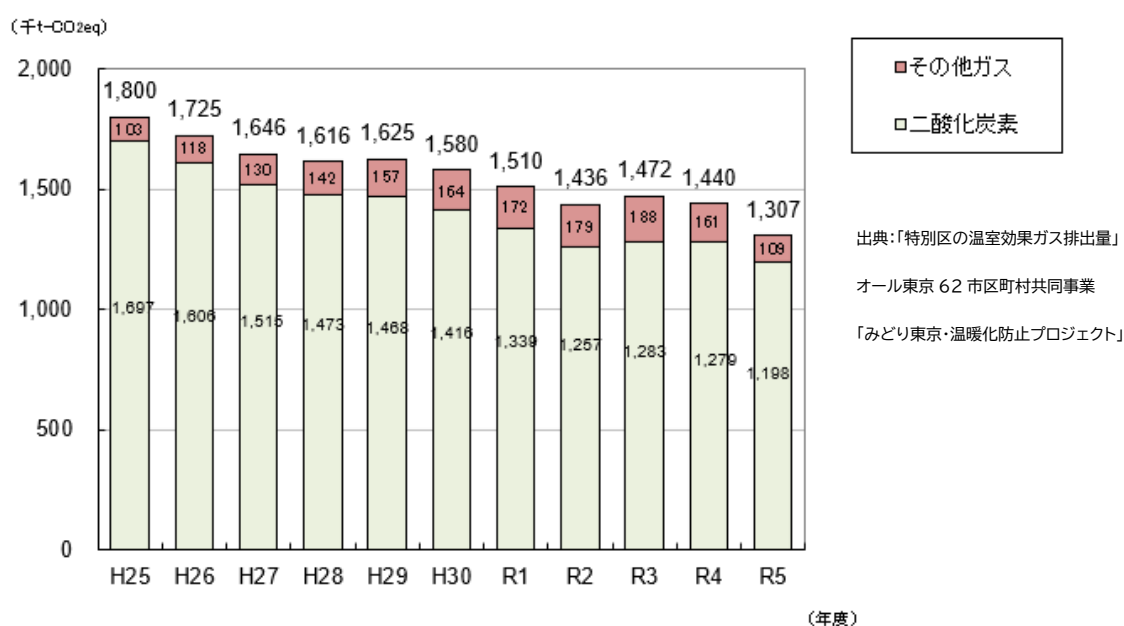


区内の温室効果ガス排出量について

◆ 温室効果ガスの排出量の推移

区の温室効果ガス排出量は平成 25(2013)年度をピークに減少傾向

令和5年度における豊島区の温室効果ガス排出量は、130万tでした。前年度比では9.3%減少、平成25年度比では約27%の減少となっています。温室効果ガス排出量の約90%を占めるCO₂の排出量は、119万8千t となっています。平成25年度比では29.4%の減少となっており、近年は減少傾向が続き、令和5年度は前年度比6.3%減となっています。



削減目標

2030 年度における温室効果ガス排出量削減目標
2013 年度比 50%(900千 t)削減

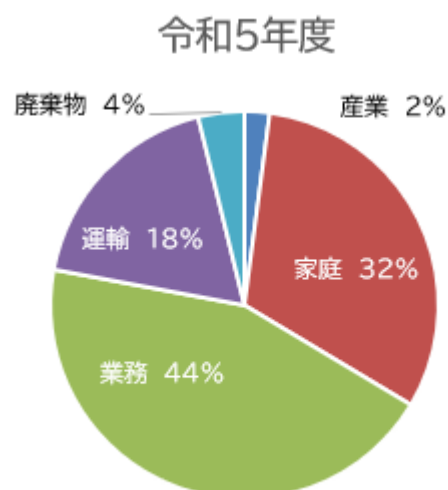
➔ 目標達成には、あと400千 t の削減が必要

◆ 二酸化炭素(CO₂)の部門別構成

家庭部門が約3割・業務部門で約4割を構成

豊島区の CO₂ 排出量は、約3割が家庭部門、約4割が業務部門(学校・事務所・商業施設等)で構成されています。

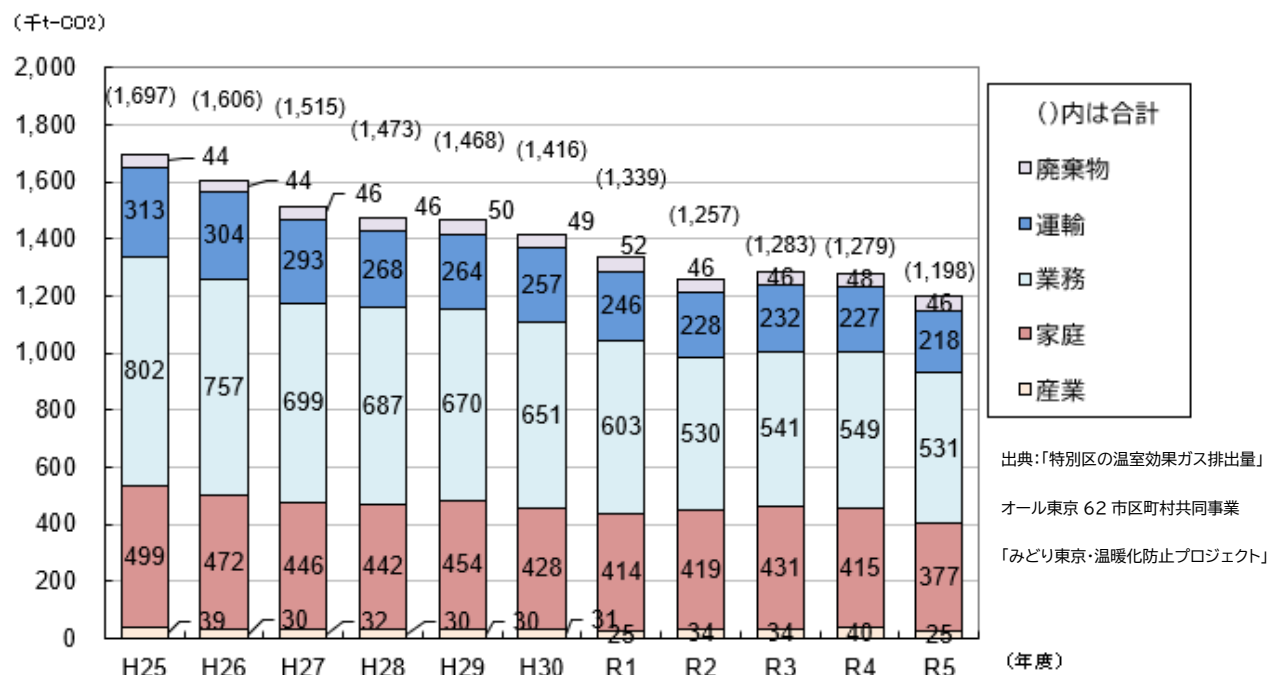
温室効果ガス削減目標を達成するためには、部門別割合の高い、業務部門や家庭部門でのさらなる削減に対する取組が必要です。



参考:関連資料

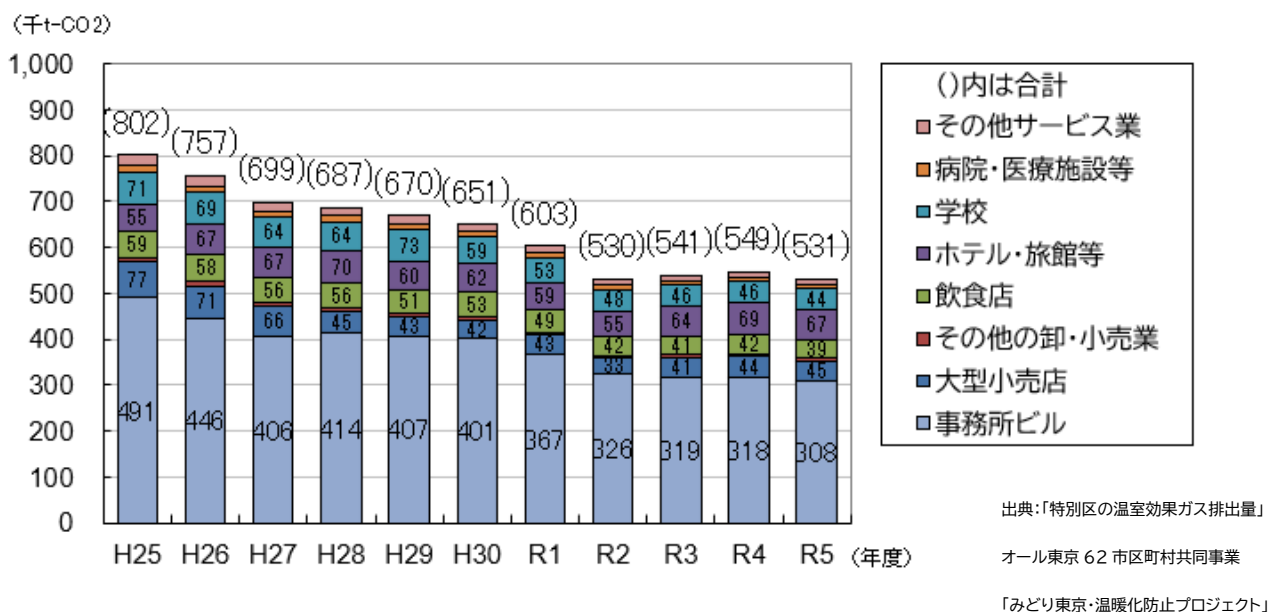
◆ 部門別 CO2 排出量の推移

令和5年度の CO2排出量は、平成25年度比で 29.4% の減少、前年度比では 6.3%の減少となっています。



◆ 業務部門の CO2 排出量の推移

令和5年度の業務部門 CO2排出量は 53万1千tでした。平成25年度比では 33.8%の減少、前年度比では 3.3%の減少となっています。前年度と比較すると、大型小売店とその他の卸・小売業を除き、全体的に減少しています。



◆ 家庭部門の CO2 排出量の推移

※2013(平成 25)年度を 100 とした場合の各指標の変化

令和5年度の家庭部門 CO2排出量は 37 万 7 千tでした。平成25年度比では24.4%減少し、前年度比では 9.1%減少しています。家庭部門の CO2排出量は減少傾向にありましたが、令和2年度に増加に転じ、令和5年度には再び大きく減少しています。この間の増加については、新型コロナウイルスの影響により、在宅時間が増えたことによるものと考えられます。

